



# 明日に架ける橋

進路だより 第9号  
2021/2/5  
兵庫県立明石高等学校  
進路指導部発行

□志は高く！～簡単に妥協しない姿勢が大切～□

## 1 ここまでを振り返って

現在3年生は、私立大学の一般選抜に奮闘中です。また国公立の2次試験の勉強に励んでいる生徒も多くみられます。

1年生のみなさん、まもなく1年が過ぎようとしています。今年度は、コロナウィルスの影響により、新学期のスタートが遅れましたが、高校でのここまでの生活はいかがでしたか？新学期が始まって少し経った後に、高校での定期考査や模擬試験。そして文理選択など、入学して間もないにもかかわらず、次の進路に向けて考えなければならない機会があったことと思います。次の進路に向けての意識はついてきましたか？

続いて2年生、次年度いよいよ受験生となります。模擬試験の科目も増え、また3年次の科目選択など、次年度の受験を意識せざるを得ない1年間を過ごしてきたのではないのでしょうか？自分の進路に向けての情報収集はしっかりできていますか？

## 2 志望校は「背伸び」するぐらいがちょうどいい

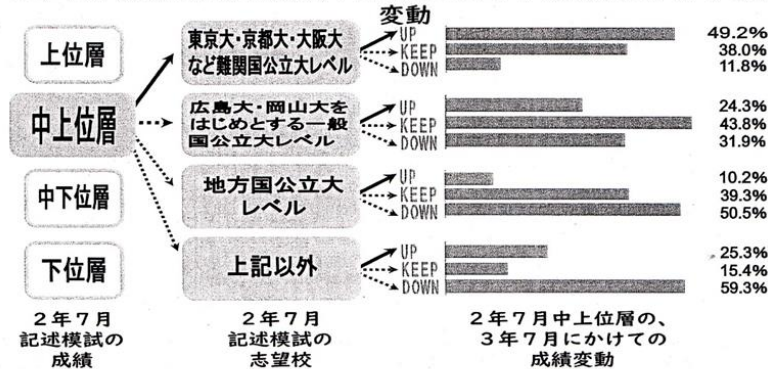
さて、模擬試験を受ける中で、自分の現時点での実力が数値化されます。そのデータを参考として、前年度のデータ・倍率・難易度などと照らし合わせ志望校を考えていくわけですが、特に2年生のみなさん、もうすでに、次年度「自分のいける大学はどこかな」という発想で学校調べをしていませんか？それはオススメしません。「行きたい大学」「学びたい学問」という発想で大学調べをしてください。

ここで資料をご覧ください。

2年7月模試から3年7月模試までの志望校別成績変動



2年7月模試における成績中上位層の3年7月模試にかけての成績



今の成績より高い目標を持った方が学力は上昇する

(ベネッセ資料より)

これは、進研模試を発行しているベネッセが調べた資料です。これは、自分の現在の偏差値帯よりも志望校を「上げた生徒」「相応を目標とした生徒」「下げた生徒」による成績の変動を表す資料です。この資料から分かることは、実力相応校を早い段階で考えた場合、成績を上げることだけでなく、保つことですら難しくなってくるということがわかります。さらに、「安全に」という発想で志望校を下げた場合は、そこから成績を上げる事がさらに困難になり維持することが非常に難しく、成績を下降させる生徒の

割合が50%を超えているということがわかります。これは、1年生にも言えることですが、定期考査を受けたり、模擬試験を受けたりする中で、いつも自分が望む良い結果ばかりが出るわけではありません。当然、悪い結果の場合は落ち込みもするでしょうし、不安にもなることでしょう。しかし、困難な状況になった時にすぐに諦めて、目標を下方修正しては、逆に目標は遠くなってしまいます。辛い今をじっと耐えて、もがいて、常に斜め上を向くぐらいの姿勢で臨んで欲しいと思います。

## 3 「今すべきこと」「今できること」

進路実現に向けて、自分が何を今すべきなのか、何ができるのかをじっくり考えてみましょう。「すべきこと」は何かを考える時に、当然「勉強」が1番に思いつくと思いますが、「勉強」についても、「何を」「どこまで」「どのような方法で」など考えるべきことは様々あります。また、「何を」するかを考えるにしても、苦手科目に重点を置くのか、得意科目との割合をどうするのかなど、これも様々です。一度じっくり考えましょう。分からないことは、ぜひ先生方に相談をしましょう。

次に「今できること」についてですが、情報収集をしっかり行ってください。ではどのような情報を収集すればいいのか、いくつか挙げておきます。

### ① 自分が学びたい学問がどの大学で学べるか。

1番基本の事項となりますが、志望校として挙げているところだけでなく、様々な偏差値帯の大学を見ておくといいと思います。また現在、一般に言われる偏差値では見えない大学の実績が注目されています。様々な角度から大学の情報を得て、自分の進路に繋げましょう。

### ② 志望校に挙げている学校の受験方式など。

志望校にはどのような受験方式があるのか。総合型、学校推薦型、一般選抜と大きく分けると以上の3つですが、受験に課される科目などは学校によって様々です。これらをしっかり調べ、自分の強みを活かせる方法を選ぶことも大切になってきます。

### ③ 試験内容はどのようなものか。

これはみなさんの先輩を見ていると、早い段階から自主的にやった人は非常に少ないです。例えば、筆記試験を一つとっても、記述があるのか選択肢形式なのかだけでも大きく違いがあります。また、どのような難易度の問題が課せられるのかを知ることは、これからの勉強のモチベーションにも関わってくるかと思えます。また、3年生の夏以降になると出願するかどうかを入試問題と自分との相性で決めることもあります。その他、小論文が課せられる場合、「どのような分野が出題されているのか」「字数はどれくらいか」など知っておくと準備もしやすいです。これを知るための情報は進路指導室にもありますので、積極的に情報収集をしましょう。

他にもありますが、まずこの3つです。情報収集をしてください。

その他、これから取り組んで欲しいことは、「自分を語る材料を増やすこと」です。面接試験が課せられる場合、志望動機はもちろんのこと、自己PRなどの自分に関する話を話さなくてはなりません。例えば、「あなたは高校時代、何に打ち込みましたか」という質問をされた場合、みなさんは何と答えますか？おそらく多くの人は「部活動です」と答えるでしょうが、その部活動にしても、「その部活動であなたは何を学びましたか？どのような苦勞をして、それをどのように乗り越えましたか？」と聞かれて答えられるでしょうか？

以上、例を挙げましたが、部活動以外で現在すでに取り組んでいるものにしても、例に挙げた質問に答えられるような取り組み方、考え方をぜひ行ってください。